「大地と　心と　地域を　耕す」

すずしろ 22　2026 9月報 No.250

すずしろは大根　それは大地の豊かな恵みの象徴　22 世紀につなげる農のあり方を　共に考える会

2026年8月の援農報告

8月はブルーベリーの収穫が最盛期を迎え、多くの皆さまに援農のご協力をいただきました。ブルーベリー農家2軒だけで、延べ1,143時間もの援農となりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

9月は記録的な雨天続きとなり、作物の生育への影響が心配される日々が続いています。そんな中でも、栗の収穫や稲刈りが行われ、さつま芋・長芋・里芋の収穫も始まりました。また、キャベツや白菜など、秋冬野菜の苗植えも始まっています。

これからは晴天に恵まれ、作物が元気に育つことを願うばかりです。今月は新たに4名の方が入会してくださいました。

(援農担当／若林)

	協力農家数(軒)	参加者数(人)	参加延べ人数(人)	援農時間(h)	累計援農時間(h)
2026年8月	**27**	**94**	**765**	**2,712**	**15,844**
2025年8月	25	91	812	2,873	17,759
増/減	+2	+3	-47	-161	-1915

援農体験記　　山中 啓

4月に会社を退職し、これからどうやって過ごそうかと考えていた時に、近所の方からすずしろ22をご紹介して頂きました。身体を動かし運動にもなる、お小遣いが頂ける、拘束時間が午前中で午後が自由になる、行きたいときだけ参加できる、などなど退職後の過ごし方には丁度良いのでは、加えて農家の人手不足のお役に立てればということもあり参加させていただくことにしました。

実際に働いてみて先ず感じたことは、真面目に農業をしているんだなと(大変失礼な感想ですが)。機械で耕して、種を撒いて、農薬や除草剤を散布して、収穫して、出荷すると漠然に考えていましたが、実際には手作業が多く、減農薬で農薬も極力減らし、水の管理、草抜き、一つ一つを手摘み、選別をした上での袋詰めなど、1つの野菜を作るのに想像以上に丁寧に手をかけていることを知りました。種苗や資材などの投資に見合った回収ができるか、どう収益を上げて行くかなど経営的な考えも必要で、相当大変な仕事だなと感じています。消費者目線では野菜がもっと安くならないかなと思っていましたが、生産者の働きに見合った妥当な価格という考えも必要だなと思うようになっています。

高校生や大学生に土作りから収穫までの(芋掘りとは違った)農業体験をしてもらうことで作物ができるまでの大変さが分かり生産者と消費者が近づけるのではなどと考える今日このごろです。すずしろ22新入生です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

イベントのお知らせ！

はちおうじNPOフェスティバル2026

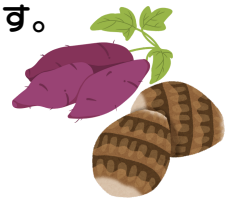
はちおうじNPOフェスティバル2026に出展します。
日時:10月12日(月・祝日) 10:30～16:30
場所:東京たま未来メッセ「21番」ブース
内容:野菜販売、活動紹介
お野菜販売も有るので、遊びに来て下さい！

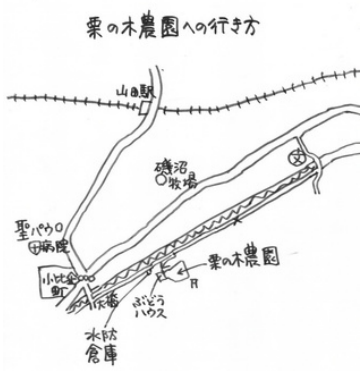
親睦会

日頃、なかなか顔を合わせる機会のない会員の皆さんと、ゆっくりお話ししてみませんか？
いろいろな情報交換もできればと思っています。ぜひお気軽にお越しください。
美味しい珈琲とお菓子を用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。
日時:11月23日(月・祝日) 13:30～16:30　場所:台町市民センター　調理室
参加費:500円
申し込み:小泉(郁)　asafue193g@gmail.com

里芋・さつまいも収穫イベント

秋の実りを一緒に収穫しませんか？掘った芋は350円/kgで買うことが出来ます。
日時:11月14日(土) 10:00～12:00　雨天の場合15日(日) 同時間
　　15日も雨の場合は、参加申込者に個別に連絡します。
場所:すずしろ22『栗の木農園』(小比企町)
駐車場:湯殿川南側道路 水防倉庫より東に50m
集合:『栗の木農園』に10:00 または 駐車場に9:30
定員:5組
持ち物:長靴、長袖長ズボン、収穫物を入れる袋、飲み物、おやつ、
　　あればスコップやシャベル
申し込み:飛田恵美子　emiko.agri@gmail.com　070-4449-2641





理事会報告

以下の通り、定例理事会を開催しました。
9月15日（火）出席者10名

- NPOフェスティバルについて
- ホームページ更新について
- 援農窓口会議について
- コスモス畑作業小屋の改修について

季節のホットコラム

八王子のじゃがいもを食べよう！

10月は農林水産省でも「さつまいも・じゃがいもの週」を10月19～23日に設定しています。アメリカ産の生のじゃがいもを日本に輸入するための協議が進んでいます。そんなニュースをきっかけに、私たちの身近で育てられている野菜にも目を向けてみませんか？八王子でも、農家さんがじゃがいもを育てています。地元で採れた新鮮なじゃがいもを食卓に取り入れることは、地域の農業を応援することにもつながります。この秋は、八王子のじゃがいもを食べましょう！　(広報/山本)

NPO法人　すずしろ22　発行責任者 飛田恵美子　☎:070-4449-2641　✉:emiko_tobita@ybb.ne.jp　http://www.suzushiro22.org